

平成29年12月に Bangladesh に行ってきました！ 12月23日(土)～29日(金)

まずは BSDP の修了式典と歓迎セレモニー 12月24日



BESS から縫製訓練の修了証を60人の女性に授与しました



渡す縫製訓練の修了証にサインしました

市長さんからも修了証を授与していただきました



スポーツ大会で優秀な成績をとった子供にはご褒美にきれいな皿を渡しました



きれいな衣装をつけて歓迎の踊りをたくさんしてくれました

平成29年12月末にスタッフ3名(森崎、松浦、大池)が Bangladesh に行き、たくさんのプログラムをこなし無事帰ってまいりました。これは、平成27年7月にISのテロで余儀なくキャンセルし、延び延びになっていたツアーがやっと実現したものです。

ご報告することがたくさんございます。

まずは BESS の支援による BSDP の女性の縫製訓練の修了式や、学校の優秀な子供たちの表彰式が行われました。市長様、女性議員様にも来ていただき、盛大に式典が行われました。

そのほか有意義で嬉しい出来事が多い毎日の中で、予期せぬこともあった今回の旅でしたが、限られた時間の中多くの子供たちや学生たちと心が触れ合う交流もたくさん出来、実り多い旅となりました。

BSDP スクール訪問 12月27日



修了証をもらった子供たち



BSDP スクールでは大勢の子供たちや保護者が私たちの訪問を待っていて、門を入ると「こんにちは」「アッサラーム・アライクム」などと、元気の良いあいさつで迎えてくれました。

教室に入って、最初に各学年の子供たちに修了証を手渡しました。また、現地で注文した「パン」と「ゆで卵」をプレゼントしました。子供たちは日本語で「ありがとう」と言ってとても嬉しそうに受け取っていました。

その後、校庭で歓迎の劇やダンスをたくさん見せてくれました。子供たちは携帯電話のユーチューブを見て振付を考えたようで、美しく着飾り見事なダンスを次々と見せてくれました。

劇は子供たちの創作だそうで、内容は強制的早婚・児童労働・家庭内暴力などの問題をとりあげ、役に成り切った演技で感心しました。劇もダンスも子供たちの「生きる力」を感じました。



見事な踊りを披露する



児童労働を演じる



子供が暴力を受けている場面

この訪問では、支援金を使って修理した窓やミシン、新しく買ったプリンターや学習机などの確認も行ってきました。

BSDP 縫製工場訪問 12月27日



BSDP の新製品



子供を連れて訓練を受けている女性もいる

BSDP の縫製工場で新しい手芸品ができていました。一回り技術が向上したとを感じる作品でしたが、「縫い目はそろっているか」「ファスナーのつけ方はよいか」など一つ一つ確認し、今後の作品づくりのアドバイスも行ってきました。

縫製工場には、訓練を受けている女性たちが大勢集まっています。一人一人に、日本から持参したタオルをプレゼントしましたが、バングラデシュにはタオル地というものがないので、珍しそうに受け取り、喜んでいました。

私たちは「女性も技術を身に付けて働く力を持つことはとても大切」「これからも頑張ってもらいたい」などのメッセージを伝えました。

丸久工場見学 12月25日

丸久工場は徳島県鳴門市に本社を置くアパレル企業で、約8年前にバングラデシュに進出し大きな工場を作りました。

今回この工場のアドバイザーをしていらっしゃるフセイン様のお計らいで工場を見学させていただくことができました。

バングラデシュは高校や大学を卒業しても就職口が見つからないことが大問題です。

この工場では、約2700名のバングラデシュ人が働いており、昼食もいただけるそうです。BESSが支援しているチャンパラの縫製訓練を受けた女性やハイスクールを卒業した学生たちが将来丸久工場で働くお話もいただき、丸久工場への道が開けて行けば大変ありがたいと思います。



三好社長様（中央）
アドバイザーのフセイン様（右）



いろんな仕事内容に分かれていて
男性もたくさん働いている



はみ出た糸を切っている

エンゼル協会見学 12月26日

BESSのフェアトレードでは、現地のエンゼル協会から仕入れた品も販売しています。また、BSDPの縫製訓練の先生はエンゼル協会研修を受けた人です。そこでBSDPのもととなるエンゼル協会の縫製工場やエンゼル協会が運営している小学校を見学させていただきました。

縫製工場では、いろいろな製品を見せていただき、要望も伝えて注文を出して来ました。今年は新商品も販売できそうで楽しみです。



バリ様（左）からエンゼル協会
についての説明を聴く



縫製技術を学ぶ女性たち

里子たちに会いました

12月27日

・訪問した日は冬休みに入ったばかりのところでしたが、たくさんの子供たちが集まってくれました。ただ8年生のラフィクルとラザウルの2名は郷里に帰っていて会うことができず、大変残念に思いました。

・歓迎のダンスをしてくれる子はきれいに着飾り、美しいです。

8年生9名



(2人欠席)



ラフィクル



ラザウル

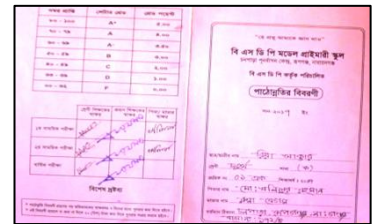
(写真 前列左から → 後列左へ)

里子名 student	里親名 parent	将来の夢、備考 Future dream
コフィヌール	辻紀久子	警察官・医者
ハフサ	小木曾良子	医者
ヌル モハメド	土川照恵	医者
サダム フセイン	瀧本洋子	教師、7年生から支援を受け、今8年生である。
リツ	松浦智恵子	教師
アベダ	大池小夜子	銀行員
アクリマ	森崎芳子	医者
ラフィクル	川濱美智子 吉家直美	教師・医者
ラザウル	新田潔	教師

7年生5名



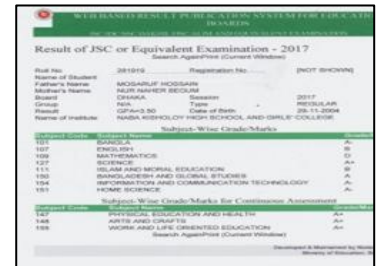
6年生8名



6・7年生の成績表と修了証

里子名	里親名	将来の夢
モリヨン	中村きわ	教師
ラベヤ	森天子	ナース
ムニ	安藤道子	ナース
シボン	葉方逸治	医者
ソニア	山田元子	医者

里子名	里親名	将来の夢
スミヤ	加納恒子	医者
マンシュラ	河村二三代	教師
コルパン	森ケイ子	医者
ムニ	牧野圭佑	医者
ミン	藤川元子	医者
ルバリ	三嶋節子	エンジニア
サイフル	小林陽子	教師
リファト	山田富美子	医者



8年生は国による JSC のテストがあり、成績表と修了証が6・7年生のものと違う

書道を通して里子たちと交流



里子たちは漢字の意味を知り、興味深げにお手本を見ながら、慣れない手つきで筆を動かし、出来上がった字を満足そうに眺めていました。

先生方も一緒に参加し、楽しいひとときを過ごすことができました。

子供たちを取り巻く環境

スラム街の貧しさとの闘い

里子たちの住居はスラム街にあり、狭い所に台所と就寝するスペースに分けられ、屋根は所々に穴があき、雨漏りがする状況の家もありました。ヌルは母と二人で暮らしていますが、母親は病気のため、十分に働けない状態にあります。モリヨンは両親が亡くなり、姉が子どもを抱えながら働いて生計を立てています。そんな苦しい状況の中で里子たちは勉強を続けたいとハイスクールに通っています。



スラム街の家の台所



ヌル (中央)、お母さん、お姉さん、その子供。お父さんがいなくて大変貧しい。



両親がいなくて姉と暮らすモリヨンの家は貧困で、ビンドウ校長先生によく相談する。

早婚と学業の両立

里子の中にはお互い好きになって早婚した子が2人いて、大変驚きました。しかし、校長先生の熱心な説得で、結婚生活をしながらハイスクールで勉強を続けていくことを約束しています。

なんとかハイスクールを卒業してほしいと願うばかりです。



アベダのご主人は20才

潜在的に見え隠れする家庭内暴力

里子との遠足で独立記念塔へ向かう車中で涙ながらにビンドウ校長先生に訴える女の子がいました。父親が母親に暴力を振る腕を28針も縫う怪我をしたということでした。

校長先生は穏やかに話を聞き終えて、近いうちに父親の親族と一緒に家庭訪問をし、父親に暴力を振るわないように話をすると、女の子に約束していました。

また、その日一緒に来るはずだった既婚の里子は夫から暴力を受け、参加することができませんでした。

里子たちの現状は厳しく、学業の継続は想像以上に困難なことが今回の訪問で分かりました。それでも本人の強い意志と校長先生をはじめとする先生方の働きかけ、里親の方々の援助に支えられて自分の夢を実現しようと頑張っています。

☆ 2018年の新しい里子を支援していただく里親様 (敬称略)

小崎真紀子 井上千鶴 河井那知子 井川良子 尾関昭 BESS

新里子名 1/ Ramzan sikder Grade 6、 2/ Solaman Grade 6、 3/ Mst. Subarna Grade 6

4/ Sarmin akter Grade 6、 5/ Jysmin Grade 6、 6/ Sima Grade 11

☆ バングラデシュの学校制度

小学校は5年生までで義務教育である。ハイスクール(中・高等学校)は6年生~10年生までの5年間で義務教育でない。従って、入学金や月謝等が必要で入れない子が大量にいる。

11・12年生のcollegeを卒業すると日本の高等学校修了と同じ年数になる。

☆ 2019年度の新しい里親の募集

月々1000円(年12000円)の支援で一人の子がハイスクール(中・高等学校)に通うことができます。やる気があっても貧困のために中・高等学校に通えない子どもたちのために里子支援の御協力をいただければ大変ありがたく思います。

『初めてバングラデシュを訪問して』

松浦 智恵子

バングラデシュを初めて訪問して感じたことはたくさんありますが、特に印象的であったのは「街の様子」と「子供たちの様子」でした。

街の様子で驚いたことは、交通安全や衛生に対する人々の感覚が日本と全く違うことです。渋滞が頻繁にあり車線があっても守らない車がほとんどで、逆走する車もあります。前後左右に少しでも隙間があれば強引に車が割り込んできてバスや車は傷だらけです。また、たくさんの車が往来している道路を横断する大人たちが大勢います。

道路脇にはゴミが多く、多種多様な露店が並び、太陽が当たる所で生の魚が保冷されずに売られているなど日本では考えられない場面ばかりです。

そんな中でバングラデシュの子供たちは、大変明るく積極的でたくましく、生きる力をもっていると感じました。初めて会う私たちにも積極的に話しかけ握手を求める子、日本語で「こんにちは」と挨拶する子、英語で思いを伝えようとする子など様々で、どの子もみんな笑顔で輝いていました。

学校近くの広場や路地では子供たちがみんなで元気よく遊ぶ声が響いていました。それは日本では最近あまり見られない光景で、昔の日本に似た活気を感じ、未来への明るい希望を予感させてくれるものであると思いました。

大池 小夜子

今回の訪問は、海外旅行2回目、テロ事件のこともあり、不安と緊張を感じていました。

しかし、実際にバングラデシュの人々と接してみて、そんな感情は吹っ飛んでしまいました。

ホームステイ先の方々、支援している学校の先生や子供たち、エンゼル協会や愛知ホスピタルの皆様、フセイン様ご夫妻、そして、ダッカの町ですれ違った人々はみんな活気があり、親切で、友好的でした。

「人は国や言葉や宗教が違っていてもちゃんと心は通じ合える」という楽しい気持ちで旅行を終えました。

バングラデシュが抱えている問題にも気づきました。①交通渋滞がひどい。②貧富の差。③ゴミの処理が追いついていない。④川の汚染。⑤大学を出ても働く場所がなく、優秀な人材が海外に流れる。⑥早婚、女性の人権確立が不十分なことなどです。これらの問題を解決するには、設備投資、インフラ整備、工場誘致などの経済政策とともに教育が必要だと強く感じました。規則を守るという意識が低く、信号を守らない、ごみを道ばたに捨てる、女性は16歳以上で結婚するという法律を守らないなど、法律や規則があってもないに等しいのです。

「衣食足りて礼節を知る」経済的にも少しずつ発展を見せているこの国で次に必要なのは、教育であると強く感じました。

最後になりますが、私の里子が14歳で結婚していたことにはとても驚き、ショックでした。貧困層の家庭では、「女の子を早く嫁に出し、養育費を少なくしたい」「年齢が若ければ、持参金は少なくてもよい」などの現状があり、16歳前でも結婚をさせています。ある統計によると、女性の平均初婚年齢は15.8歳であると報告されています。(AFPPDの調査による)

結婚後は女性の意志で物事を決定することはほとんどできず、夫の決定に従わなければならない、時には暴力を振るわれたりします。私の里子は銀行員になりたいという希望をもち、結婚しても勉強を続けたいということで学校にきています。女性が結婚しても自分の意志で人生を切り開いていけるという第一人者になってほしいと願っています。



ビンドウさん家族



モヌさん家族

今回の旅行では大勢の方々に温かく迎えていただき大変お世話になり、本当にありがとうございました。

また宿泊はホテルを使わず、ビンドウさんとモヌさんのご家庭にホームステイさせていただきました。ご家族の皆様には大変お世話になりありがとうございました。

旅行ではバングラデシュで指導的立場で势力的にご活躍されている方々や、地域の皆様や子供たち、学生たち、先生方等大勢の人たちとお会いし、ふれ合うことができました。そして、たくさんのことを勉強させていただき、たくさんの元気をいただき帰ってまいりました。

国は違ってもお互いに手を携えて協力し、助け合い、学び合い、交流していくことが大切であると思っています。皆様これからもどうぞよろしく願いいたします。(森崎 芳子)

29年度 活動報告

平成30年度 主な活動計画

F:フェアトレード

月	内 容	備 考	月	内 容	備 考
1月	H27・28年度の里子は、8年生・7年生に進級 H29年度の新里子8名決定。総勢本年度の里子は22名になり、学校に通う		1月	15日(月) スタディツアーの反省「BESSだより」作成	BESS事務所
2月	3日 日進南小学校でバン格拉デシュ講座を行う	日進南小	2月	15日(木) 「BESSだより」14号 発行	江南文化会館
	4日 犬山市民活動フォーラムに出席	犬山フロイデ		12日(月) 江南市女性連絡協議会映画会「レ・ミゼラブル」F	
	11日 女性連絡協議会大会 F	江南文化会館	5月	24日(土) スタッフ会	BESS事務所
	20日 慈性氏、バン格拉デシュ領事館柘植氏との話し合い	金山		7・8日(土・日) 犬山祭り F	しみん亭
22日 グローバル教育コンクール授賞式に出席	東京 JICA	6月	21日(土) BESS 総会・セミナー	江南文化会館	
6日 日進南小学校で文具などの寄贈を受ける	日進南小		26・27・29日(木・金・日) 藤まつり F	曼陀羅寺	
3月	18日 名古屋観光ホテル F (パシイワ様の協力)	名古屋観光ホテル	5月	1・2・4・5日(火・水・金・土) 藤まつり F	曼陀羅寺
	22日 バン格拉デシュに寄贈する品物を送る		20日(日) 江南市子どもフェスティバル F	すいとびあ江南	
4月	1・2日 犬山祭り F	しみん亭	7月	3日(日) 犬山焼酎祭り F	しみん亭
	27・28・30日 藤まつり F	曼陀羅寺		16日(日) 江南市女性連絡協議会映画会 F	江南文化会館
5月	1・2・4・5日 藤まつり F	曼陀羅寺	8月	5日(日) 江南サマージャズフェスティバル F	江南文化会館
	21日 子どもフェスティバル F	すいとびあ		19日(日) 江南市国際交流フェスティバル F	すいとびあ江南
6月	4日 犬山焼酎祭り F	しみん亭	9月	29・30日(土・日) 江南市民祭り F	すいとびあ江南
	16日 ワールドコラボ打ち合わせ会	国際プラザ		7日(日) ふくし祭り F	江南文化会館
	22日 BESS リーフレット完成		8日(月) AHI オープンハウス F	日進	
	24日 「BESSだより」13号 発行		21日(日) ワールドコラボ F	栄オアシス広場	
7月	27日 名東高校にてワークショップ	名東高校	28日(日) 藤の木園まつり F	藤の木園	
	2日 江南市女性連絡協議会映画会「オケ老人」F	江南文化会館	10日(土) 犬山ワイン祭り F	しみん亭	
8月	7日 サマージャズフェスタ F	江南文化会館	18日(日) 江南市消費生活展 F	江南文化会館	
	20日 江南国際交流フェスティバル F	すいとびあ	12月	19日(日) 犬山フロイデ祭り F	犬山フロイデ
9月	2日 バン格拉デシュ講座	大口中央公民館	(※これらは変更する場合があります。)		
10月	1日 ふくし祭り F	江南文化会館	平成30年4月21日(土) 10:00~		
	15日 ワールドコラボ F	栄オアシス広場	BESS 総会・セミナー		
11月	9日 AHI オープンハウス F	日進	江南市民文化会館2階 (美術工芸室)		
	11日 犬山ワイン祭り F	しみん亭			
12月	19日 消費生活展 F	江南文化会館			
	10日 犬山フロイデまつり F	犬山フロイデ			
	23~29日 バン格拉デシュ訪問 (森崎・松浦・大池)				

☆ 平成29年の賛助会員は86名、寄付協力者は25名でした。大勢の方にご協力いただき、厚くお礼を申し上げます。

引き続き平成30年もご協力いただけますと大変ありがたく、お願い申し上げます。

賛助会費(年) 1,000円

振り込みの場合

郵便局 口座番号 0860-8-190488

加入者名 BESS

問合せ先 **バン格拉デシュ教育支援の会 (BESS) 事務局**
 〒483-8044 愛知県江南市宮後町中町79 森崎芳子方
 TEL 0587-54-4303 090-9225-9729
 メール m-hanzu@msd.biglobe.ne.jp
 ホームページ <http://www7b.biglobe.ne.jp.bess/>

